

## 「ギターとウクレレから見える世の中」

吉備建築設計室 代表 <sup>きび</sup> 吉備 <sup>たかし</sup> 考司



住 所: 加古川市加古川町本町21-17

T E L: 079-423-6350

営業内容: 建築設計監理

建築設計事務所を業とする傍ら、趣味でギター教室を開く63歳のアマチュアギターリストです。

好きなメロディーをギターで弾けるようになったのが10歳の冬だったと思います。自前のウクレレを持ってはいませんが、チューニングができてなくて姉の所有するギターを拝借しての事でした。ギター教室に通っていた姉の練習に付き合っている内に習った感じです。かれこれ半世紀が経ち、様々なスタイルのギターを学んできたものだと思います。それはさて置き、

このエッセイの依頼を受け、皆様に伝えようと思い立った事柄について、まず述べるべきは、「ウクレレとギターは同じ音の並びですよ。」の一言です。ギターでメロディーが弾ける人なら直ちにウクレレでメロディーが弾けますよ、と言っているのですが、どうでしょうか。ギター好きの皆さまも、どうでしょうか、弾けると思えますか。いつだったか、ギターも弾けるウクレレの指導者が私の説に怪訝な顔をされていたので、「1弦5フレットの音は何？2弦は？3弦は？4弦は？」と矢継ぎ早に訊ねてみたところ、ウクレレの指板が即座に思い浮かべられたのだろう、「なんや、むっちゃ簡単やん。」と感嘆の言葉が返ってきました。そう簡単です。気が付いてしまえば簡単です。そもそもギターの音列についての成り立ちや仕組みを知っていれば、楽に納得できることなのですが、どうも知識と理解は違う場所にあるようで、ちよつとした切っ掛けが理解に結び付くものだと、自らを振り返って気付きました。

弾き語りが上手な方の多くが、ローコードは弾けるけどハイコードは難しそうで弾いたことがないと仰るのも同じことかと思えます。私に言わせればローコードはギターのノウハウが凝縮された上級者向けの技術です。ハイコードの方が分かりやすいのと思った

りします。ただ、いかんせん、ハイコードを押さえるのには、ちよつとしたコツがあつてそのハードルがあるにはあります・・・。なにはともあれ、ギターやウクレレは手軽に音楽に触れることができる楽器のはずですが、何かずれた手引きによって複雑なものになっている印象があります。

さて、話は変わりますが、メディア報道について、皆さんはどのような理解をお持ちでしょうか。近年、ネット情報の中に、メディアによるフェイクニュースに対して、注意を喚起するものが少なからず上がっていると思います。その一つに、人々に知らせない故のフェイクニュースなるものがあります。報道は事実ですが、意図して隠された部分があるということ。しかし、よくよく考えてみれば、これは世の常でしたね。私にしても、ウクレレとギターの音列について一々話すことはなくなりました。話さなくても事実

は事実。そして、事実を知るには自ら体験するしかないのだろうと、悟ったような諦めたような、とりあえずは穏やかな今日この頃であります。

テレビ報道は創作劇場かと感じるばかりですが、さてさて地元にも美味しい季節が巡ってきます。皆様には楽しい日々でありますようお祈り申し上げます。機会がありましたらまたどこかで・・・。